

資料目次

添付資料 1：化粧品産業ビジョン	2
添付資料 2：佐賀大学に寄せられる化粧品・食品・化学関連産業からの求人情数	4
添付資料 3：人材需要に関するアンケート調査	5
添付資料 4：佐賀県及び唐津市と国立大学法人佐賀大学との連携協定書	20
添付資料 5：（化粧品工業会）化粧品企業において、理系大学卒業者が活躍する領域、組織と、学生に求められる専門性	22
添付資料 6：18 歳人口（男女別）の将来推計	23
添付資料 7：2040 年における 18 歳人口（推計）の減少割合	24
添付資料 8：九州地区の理工系・農学系学部の入学志願状況	26
添付資料 9：佐賀大学における地域別入学者の割合	27
添付資料 10：「未来発見オープンデイ」（R6.11.24）の実施状況	28
添付資料 11：佐賀大学理工学部及び農学部における入試状況	31
添付資料 12：入試広報活動	32
添付資料 13：オープンキャンパス特別講座開催実績（化粧品化学共同研究講座）	33
添付資料 14：競合校と関連学部との入学志願状況の比較	34
添付資料 15：学生確保に関するアンケート調査	35
添付資料 16：「未来発見オープンデイ」申込者を対象とした「コスメティックサイエンス学環」（仮称）設置に関するニーズ調査	51
添付資料 17：佐賀大学入学者の佐賀大学の志望順位について	53

化粧品産業ビジョン

～日本の先端技術と文化に基づいた Japan Beauty を世界に発信し、

人々の幸せ (well-being) と世界のサステナビリティに貢献する産業へ～

令和 3 年 4 月

化粧品産業ビジョン検討会

2. 化粧品産業ビジョン

(1) 全体像

ここでは、10 年後（短期）、30 年後（中長期）に化粧品産業を取り巻く世界はどのように変化し、またその変化の中で日本の化粧品産業は如何にして継続的な成長を実現すべきか、将来に向けた「ビジョン」を掲げるとともに、目指すべき方向性及び取り組むべきことについて、化粧品産業ビジョン検討会での議論を踏まえ整理した。

世界の変化（予測）		
	10 年後（短期）	30 年後（中長期）
市場の変化	●グローバル市場の拡大 ●消費者ニーズの多様化 ・Z 世代、デジタルネイティブの台頭 ・超高齢化による健康志向の高まり ・男性でもメイクをすることが一般化	●デジタル経済圏の台頭 ●アジア圏の GDP 拡大（世界の 4 割超に） ●外国人比率の変化（外国人の増加）による文化・嗜好の多様化 ●ジェンダーレス化・ジェンダーフリー化
ライフスタイルの変化	●デジタルテクノロジーの進化 ・買い物の EC 化、キャッシュレス化 ・家電の IoT 化 ●衛生意識の向上	●健康寿命の延伸 ●遺伝子情報による one to one ビジネスの広がり ●画像で外観が変えられる社会に ●ロボット協働社会の到来
地球環境への対応に関する変化	●環境に配慮した製品の普及 ●エシカル消費の拡大 ●動物実験代替法の確立	●脱炭素を実現する循環型社会の到来 ●科学によるエビデンスの重要度の拡大

（注）化粧品産業ビジョン検討会での議論を踏まえて作成

＜ビジョン＞ **日本の先端技術と文化に基づいた Japan Beauty を世界に発信し、人々の幸せ(well-being)と世界のサステナビリティに貢献する産業へ**

今後の化粧品産業の目指すべき方向性

①国内需要のみに依存したビジネスモデルから脱却し、成長著しいアジアを中心とする海外需要を取り込み、継続的な発展を実現する。

⇒（取組 1）新規需要を取り込んだビジネス戦略への転換

（取組 2）流行に振り回されない絶対的「日本」ブランドの確立

（取組 3）デジタル技術の活用を前提としたマーケティング戦略への転換

（取組 4）**産学官によるビジネス環境の整備**

（取組 5）**更なる研究開発への取組**

②持続可能な社会の実現をリードする産業となる。

⇒（取組 6）多様な人材の活用

（取組 7）SDGs への積極的な貢献

佐賀大学に寄せられる化粧品・食品・化学関連産業からの求人件数

業種	R3卒	R4卒	R5卒	R6卒	R7卒	計	年平均
化粧品	57	79	92	115	103	446	89.2
食品	345	302	409	557	628	2,241	448.2
化学	342	526	558	587	535	2,548	509.6
計	744	907	1,059	1,259	1,266	5,235	1,047.0
【参考】 全求人件数	22,028	23,179	30,785	39,873	35,231		

○求人受付システムに企業が登録した求人情報について、コスメティックサイエンス学環（仮称）が学生の就職先として想定する業種について集計を行った。

○求人件数の増加とともに、食品・化学・化粧品関連企業からの求人件数も増加している

※R7卒は、R6年8月時点の数値

佐賀大学
「コスメティックサイエンス学環」(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【企業対象調査】

1. 調査目的

2026年4月開設予定の佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」(仮称)設置構想に関して、企業からの採用ニーズを把握する。

2. 調査概要

		企業対象調査
調査対象		企業の採用担当者
調査エリア		群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	273企業
	回収数(回収率)	63企業(23.1%)
調査時期		2024年12月2日(月)～2025年1月10日(金)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

企業対象調査
・ 人事採用への関与度 ・ 本社(本部)所在地 ・ 業種 ・ 正規社員の従業員数 ・ 正規社員の平均採用人数 ・ 本年度の採用予定数 ・ 採用したい学問分野 ・ 佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」の特色に対する魅力度 ・ 佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」の社会的必要性 ・ 佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」卒業生に対する採用意向 ・ 佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」卒業生に対する毎年の採用想定人数

採用意向調査 調査結果

※報告書内の表中の％の母数は、
特に断りがない場合、回答企業全体(63企業)

回答企業(回答者)の属性

※本調査は、佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」に対する人材需要を確認するための調査として設計。佐賀大学の卒業生就職先として想定される企業の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、63企業から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は22.2%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人が71.4%と、採用や選考に関わっている人事担当者から意見を聴取できていると考えられる。
- 回答企業の本社(本部)所在地は、「東京都」が27.0%と最も多い。次いで「大阪府」が17.5%と続く。佐賀大学の本部所在地である「佐賀県」は11.1%である。
- 回答企業の業種としては「製造業」が69.8%で最も多い。次いで「卸売・小売業」が20.6%と続く。
- 回答企業の正規社員の従業員数は、「100名～500名未満」が52.4%と最も多い。次いで「500名～1,000名未満」が15.9%、「1,000名～5,000名未満」が12.7%と続く。100名以上の比較的規模が大きい企業が8割以上である。

回答企業の採用状況(過去3か年平均)／ 本年度の採用予定数／採用したい学問分野

- 回答企業の平均的な正規社員の採用人数は「5名～10名未満」が28.6%と最も多く、次いで「1名～5名未満」「10名～20名未満」がいずれも20.6%と続く。回答企業は過去3か年で毎年、正規社員を採用している模様である。
- 回答企業の本年度の採用予定数は、「昨年度並み」が65.1%と最も多く、次いで「増やす」が19.0%である。回答企業の多くで昨年以上の採用が予定されている模様である。
- 回答企業の採用したい学問分野を複数回答で聞いたところ、「コスメティックサイエンス学環」の学びと関連する「化学」が60.3%で最も高い。次いで同様に「コスメティックサイエンス学環」の学びと関連する「生物」が39.7%、「農学」が36.5%と続く。「農芸化学」は15.9%である。

回答企業(回答者)の属性、採用状況等

■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。
(あてはまる番号1つに○)

	標 本 数	かあり採 わ、の用 つ選決 て考裁 いに権 る が	かな採 かいの用 わが、決 つ選裁 い考権 るには	提意か採 供見かを すをわ時 る収らに 立集ずは 場・情直 にある報接 や	無 回 答
上段: % 下段: 件数(企業)					
全体	63	22.2 14	71.4 45	4.8 3	1.6 1

■本社(本部)所在地

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

	標 本 数	群 馬 県	千 葉 県	東 京 都	神 奈 川 県	静 岡 県	京 都 府	大 阪 府	兵 庫 県	岡 山 県	広 島 県
上段: % 下段: 件数(企業)											
全体	63	1.6 1	1.6 1	27.0 17	4.8 3	1.6 1	1.6 1	17.5 11	4.8 3	1.6 1	1.6 1

	標 本 数	香 川 県	愛 媛 県	高 知 県	福 岡 県	佐 賀 県	熊 本 県	大 分 県	宮 崎 県	鹿 児 島 県	無 回 答
上段: % 下段: 件数(企業)											
全体	63	1.6 1	1.6 1	1.6 1	14.3 9	11.1 7	1.6 1	1.6 1	1.6 1	1.6 1	0.0 0

■業種

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

	標 本 数	鉱農・林・漁・ 業	建設業	製造業	熱電・ガス・ 水道業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業
上段: % 下段: 件数(企業)									
全体	63	1.6 1	3.2 2	69.8 44	0.0 0	0.0 0	0.0 0	20.6 13	0.0 0

	標 本 数	不動産業	宿泊・飲食・ 業	医療・福祉	複合サービス業	サービス業	公務	その他	無回答
上段: % 下段: 件数(企業)									
全体	63	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	3.2 2	1.6 1

回答企業(回答者)の属性、採用状況等

■正規社員の従業員数

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

	標 本 数	5 0 名 未 満	1 5 0 0 0 名 名 未 満	5 1 0 0 0 0 名 名 未 満	1 5 , 0 0 0 0 名 名 未 満	5 1 , , 0 0 0 0 名 名 未 満	5 , 0 0 0 0 名 以 上	無 回 答
上段:% 下段:件数(企業)								
全体	63	7.9 5	11.1 7	52.4 33	15.9 10	12.7 8	0.0 0	0.0 0

■正規社員の平均採用人数

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。
(あてはまる番号1つに○)

	標 本 数	0 名	5 1 名 名 名 未 満	1 5 0 名 名 未 満	2 1 0 0 0 名 名 未 満	3 2 0 0 0 名 名 未 満	5 3 0 0 0 名 名 未 満	1 5 0 0 0 名 名 未 満	1 0 0 0 名 以 上	無 回 答
上段:% 下段:件数(企業)										
全体	63	0.0 0	20.6 13	28.6 18	20.6 13	11.1 7	12.7 8	6.3 4	0.0 0	0.0 0

■本年度の採用予定数

Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)

	標 本 数	増 や す	昨 年 度 並 み	減 ら す	未 定	無 回 答
上段:% 下段:件数(企業)						
全体	63	19.0 12	65.1 41	6.3 4	9.5 6	0.0 0

■採用したい学問分野

Q7. 貴社・貴団体では、今後、大学でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。
(あてはまる番号すべてに○)

	標 本 数	化 学	生 物	（その他理 学・物理学 など）	農 学	農 芸 化 学	水 産 学 な ど	（その他農 学（林学・ 水産学など）	人 文 科 学 （文学・史 学・哲学 など）	社 会 科 学 （法学・ 政治学・社 会学など）
上段：％ 下段：件数（企業）										
全体	63	60.3 38	39.7 25	17.5 11	36.5 23	15.9 10	17.5 11		9.5 6	12.7 8

	標 本 数	電 気 通 信 工 学 な ど	工 学（機械 工学・電 工学など）	保 健 （医学・ 薬学・ 看護学 など）	家 政 （家政 学・食 物学・ 被服学 など）	中 学 校 課 程 な ど	教 育（小 学 校 課 程 な ど）	そ の 他	学 ん だ 学 問 分 野 に は こ だ わ ら な い	無 回 答
上段：％ 下段：件数（企業）										
全体	63	34.9 22	9.5 6	6.3 4	1.6 1	3.2 2	31.7 20	0.0 0		

佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」の特色に対する魅力度

佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」の特色に対する魅力度

「コスメティックサイエンス学環」の特色に対する魅力度(※)は、3つの項目すべてで7割を超える。

- 最も魅力度が高いのは「B. 科学的根拠に基づき、化学物質の品質・安全性を正確に評価できるスペシャリストを養成する」(93.7%)である。
- 次に魅力度が高いのは「A. 化学・生物学を中心とした分野横断的な学びをベースとして、多角的に化粧品の研究や開発にアプローチする」(82.5%)、「C. 「コスメティック構想」での実績を活かした、行政や企業と連携した実践的な学びが得られる教育環境がある」(79.4%)と続く。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した企業の合計値

佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」の特色に対する魅力度

■佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」の特色に対する魅力度

Q8. 佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。
貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれの程度魅力に感じますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

- 特色A. 化学・生物学を中心とした分野横断的な学びをベースとして、多角的に化粧品の研究や開発にアプローチする
- 特色B. 科学的根拠に基づき、化学物質の品質・安全性を正確に評価できるスペシャリストを養成する
- 特色C. 「コスメティック構想」での実績を活かした、行政や企業と連携した実践的な学びが得られる教育環境がある

	標 本 数	魅と も 力 を 感 じ る	魅あ る 程 度 を 感 じ る	魅あ ま り を 感 じ な い	魅ま っ た く を 感 じ な い	魅 力 度 (※)	無 回 答
上段: % 下段: 件数(企業)							
特色A	63	44.4 28	38.1 24	15.9 10	1.6 1	82.5 52	0.0 0
特色B	63	52.4 33	41.3 26	4.8 3	1.6 1	93.7 59	0.0 0
特色C	63	41.3 26	38.1 24	20.6 13	0.0 0	79.4 50	0.0 0

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した企業の合計値

※魅力度は、件数をもとに％を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」の社会的必要性

- 「コスメティックサイエンス学環」について「必要だと思う」と回答した企業は、95.2% (**60企業**) であり、多くの企業がこれからの社会にとって必要な学環と捉えていることがうかがえる。

佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」卒業生の採用意向/
毎年の採用想定人数

- 「コスメティックサイエンス学環」卒業生を「採用したいと思う」と回答した企業は、88.9% (**56企業**) であり、予定している入学定員30名を上回る数の採用意向がみられた。
- 「コスメティックサイエンス学環」卒業生を「採用したいと思う」と回答した企業へ、「コスメティックサイエンス学環」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は**92名**で、予定している入学定員数を3倍以上上回る採用意向がみられた。

このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

■佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」の社会的必要性

Q9. 貴社・貴団体（ご回答者）は、佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」（仮称、設置構想中）は、これからの社会にとって必要だと思われますか。（あてはまる番号1つに○）

上段：％ 下段：件数（企業）	標本数	必要だと思 う	必要だと思 わない	無回答
全体	63	95.2 60	4.8 3	0.0 0

■佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」卒業生に対する採用意向

Q10. 貴社・貴団体（ご回答者）では、佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」（仮称、設置構想中）を卒業した学生について、採用したいと思われますか。（あてはまる番号1つに○）

上段：％ 下段：件数（企業）	標本数	採用したいと思 う	採用したいと思 わない	無回答
全体	63	88.9 56	9.5 6	1.6 1



「採用したいと思う」と答えた56企業のみ抽出

■佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」卒業生に対する毎年の採用想定人数

Q11. Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
採用を考える場合、佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」（仮称、設置構想中）を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。（あてはまる番号1つに○）

	標 本 数	単 位	1 名	2 名	3 名	4 名	5 名 ～ 9 名	1 0 名 以 上	計 （ ※ ） お よ し の 採 用 業 数 ・ 計 算 人 数 ・ 毎 年 の 採 用 業 数 ・ 計 算 人 数 を
全体	56	％	62.5%	16.1%	17.9%	1.8%	1.8%	0.0%	⇒ 56 92
		企業数	35	9	10	1	1	0	
		名	35	18	30	4	5	0	

※％の母数は、「コスメティックサイエンス学環」卒業生を「採用したいと思う」と回答した企業（56企業）

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」＝5名、「10名以上」＝10名 を代入し合計値を算出

卷末資料 調查票

佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」(仮称、設置構想中)
に関するアンケート

佐賀大学では2026年(令和8年)4月より、「コスメティックサイエンス学環」(仮称)を新設することを構想しています。
このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学環にするための参考資料とさせていただきます。
このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートや同封した資料に記載されている「コスメティックサイエンス学環」(仮称、設置構想中)に関する事項は、すべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
3. 採用時には直接かわらず、情報や意見を収集・提供する立場にある

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

本社(本部)所在地

都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|------------------|-------------|--------------|
| 1. 農・林・漁・鉱業 | 6. 運輸業 | 11. 医療・福祉 |
| 2. 建設業 | 7. 卸売・小売業 | 12. 複合サービス事業 |
| 3. 製造業 | 8. 金融・保険業 | 13. サービス業 |
| 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 9. 不動産業 | 14. 公務 |
| 5. 情報通信業 | 10. 飲食店・宿泊業 | 15. その他 |

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|---------------|------------------|--------------------|
| 1. 50名未満 | 3. 100名～500名未満 | 5. 1,000名～5,000名未満 |
| 2. 50名～100名未満 | 4. 500名～1,000名未満 | 6. 5,000名以上 |

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. 0名 | 4. 10名～20名未満 | 7. 50名～100名未満 |
| 2. 1名～5名未満 | 5. 20名～30名未満 | 8. 100名以上 |
| 3. 5名～10名未満 | 6. 30名～50名未満 | |

Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|----------|--------|
| 1. 増やす | 3. 減らす |
| 2. 昨年度並み | 4. 未定 |

裏面へ続く→

Q7. 貴社・貴団体では、今後、大学でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 化学

2. 生物

3. その他理学(数学・物理学など)

4. 農学

5. 農芸化学
6. その他農学(林学・水産学など)

7. 人文科学(文学・史学・哲学など)

8. 社会科学(法学・政治学・社会学など)

9. 工学(機械工学・電気通信工学など)

10. 保健(医学・薬学・看護学など)
11. 家政(家政学・食物学・被服学など)

12. 教育(小学校課程・中学校課程など)

13. その他

14. 学んだ学問分野にはこだわらない

佐賀大学では、2026年(令和8年)4月に、
新しく「コスメティックサイエンス学環」(仮称)を設置することを構想しています。
※ここからは、アンケートに同封している資料をご覧いただいた上でお答えください ※

Q8. 佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。
貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれどの程度魅力に感じますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		とても 魅力を感じ る	ある程度 魅力を感じ る	あまり 魅力を感じ ない	まったく 魅力を感じ ない
例. ○○である	→	1	②	3	4
A. 化学・生物学を中心とした分野横断的な学びをベースとして、多角的に化粧品の研究や開発にアプローチする	→	1	2	3	4
B. 科学的根拠に基づき、化学物質の品質・安全性を正確に評価できるスペシャリストを養成する	→	1	2	3	4
C. 「コスメティック構想」での実績を活かした、行政や企業と連携した実践的な学びが得られる教育環境がある	→	1	2	3	4

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」(仮称、設置構想中)は、
これからの社会にとって必要だと思われますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 必要だと思う
2. 必要だと思わない

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)では、佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」(仮称、設置構想中)を
卒業した学生について、採用したいと思われますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 採用したいと思う
2. 採用したいと思わない

Q11. Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

採用を考える場合、佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、
毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 1名

2. 2名
3. 3名

4. 4名
5. 5名～9名

6. 10名以上

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

佐賀県と国立大学法人佐賀大学との化粧品科学分野における連携協定書

令和 7 年 5 月 2 0 日

佐賀県（以下「県」という。）及び国立大学法人佐賀大学（以下「大学」という。）は、化粧品関連産業の振興並びに化粧品科学に関する教育の充実・発展に資するため、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第 1 条 この協定は、県のコスメティック構想並びに佐賀大学の化粧品科学分野の教育研究の両者を推進し、地域の産業振興並びに人材育成を図るとともに、地域の持続可能な発展を図ることを目的とする。

（連携・協力事項）

第 2 条 県及び大学は、以下の事項について連携及び協力を行う。

- (1) 化粧品科学における革新的な研究開発の促進
- (2) 化粧品科学に関する専門的な知識と技術を持つ人材の育成
- (3) 地産素材を活用した化粧品及び原料の開発を通じた地域資源の付加価値向上
- (4) 化粧品関連産業の振興及び活性化
- (5) 化粧品関連産業との交流促進
- (6) 県民全体に美と健康を広めるための活動
- (7) その他前条の目的達成のために連携・協力が必要と認められる事項

（情報保護）

第 3 条 県及び大学は、この協定に基づく連携・協力を当たって知り得た情報について、事前に相手方の同意を得た情報以外の情報を第三者に対して開示、提供又は漏洩してはならない。

（権利の帰属）

第 4 条 この協定に基づく連携協力の成果について、知的所有権に係る権利の帰属等の問題が生じた場合は、県及び大学は誠実に協議を行い、公正に取り扱うものとする。

（有効期間）

第 5 条 この協定は、県及び大学の代表者が協定書に署名した日から効力を生じる。有効期間を 5 年間とする。ただし、有効期間が満了する日の 2 か月前までに、いずれから改廃の申出がないときは、更に 1 年間更新するものとし、その後も同様とする。

（雑則）

第 7 条 この協定書に定めるもののほか、必要な事項については、その都度、県及び大学が協議の上、定めるものとする。

2 この協定書に定める事項に疑義が生じた場合は、両者が協議の上、その解決を図るものとする。

この協定締結の証として、協定書を 2 通作成し、両者署名の上、それぞれ 1 通を所持するものとする。

山口祥義
佐賀県知事
佐賀県佐賀市本庄町 1 番地
国立大学法人佐賀大学長

唐津市と国立大学法人佐賀大学との化粧品科学に関する連携協定書

唐津市（以下「市」という。）及び国立大学法人佐賀大学（以下「大学」という。）は、化粧品関連産業の振興並びに化粧品科学に関する教育の充実・発展に資するため、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、市のコスメティック構想並びに大学の化粧品科学分野の教育研究の両者を推進し、地域の産業振興並びに人材育成を図るとともに、地域の持続可能な発展を図ることを目的とする。

（連携・協力事項）

第2条 市及び大学は、以下の事項について連携及び協力を行う。

- （1）化粧品科学における研究開発を通じた地域産業の振興並びに活性化
- （2）市及び大学の共同研究の推進による革新的な製品及び技術の開発
- （3）地産素材を活用した化粧品の開発及び普及を通じた地域資源の価値向上
- （4）化粧品科学に関する専門的な知識と技術を持つ人材の育成
- （5）スタートアップ支援など、地域経済の多様化と成長の促進
- （6）その他前条の目的達成のために連携・協力が必要と認められる事項

（報告会の開催）

第3条 市及び大学は、本協定が効果あるものとなるよう、前条に規定する事項に関し、定期的に報告会を開催するものとする。

（情報保護）

第4条 市及び大学は、この協定に基づく連携・協力に当たって知り得た情報について、事前に相手方の同意を得た情報以外の情報を第三者に対して開示、提供又は漏洩してはならない。

（権利の帰属）

第5条 この協定に基づく連携協力の成果について、知的所有権に係る権利の帰属等の問題が生じた場合は、市及び大学は誠実に協議を行い、公正に取り扱うものとする。

（有効期間）

第6条 この協定は、市及び大学の代表者が協定書に署名した日から効力を生じる。有効期間を5年間とする。ただし、有効期間が満了する日の2か月前までに、いずれからも改廃の申出がないときは、更に1年間更新するものとし、その後も同様とする。

（雑則）

第7条 この協定書に定めるもののほか、必要な事項については、その都度、市及び大学が協議の上、定めるものとする。

2 この協定書に定める事項に疑義が生じた場合は、両者が協議の上、その解決を図るものとする。

この協定締結の証として、協定書を2通作成し、両者署名の上、それぞれ1通を所持するものとする。

令和7年3月31日

佐賀県唐津市西城内1番1号
唐津市長

峰 達郎

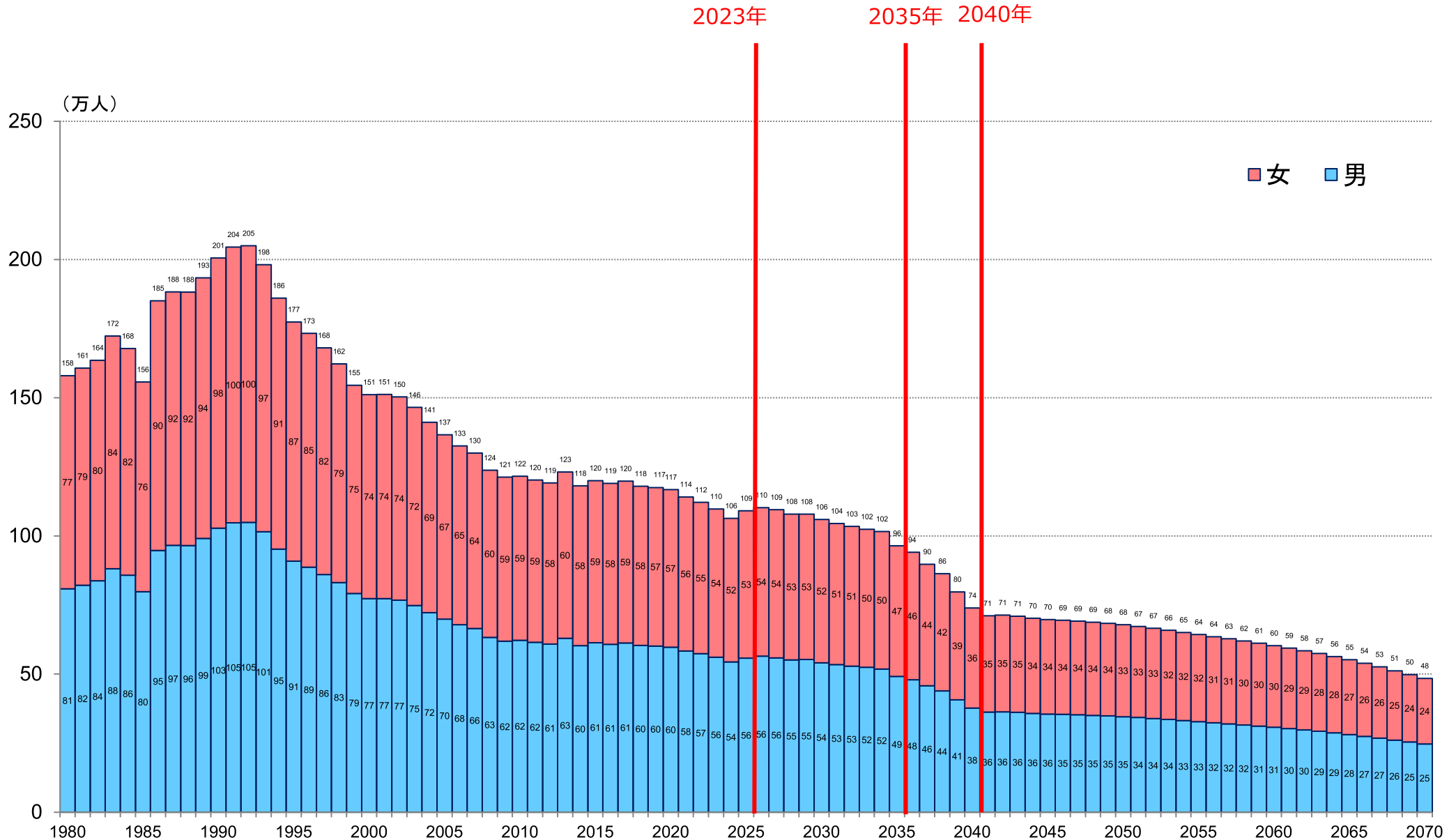
佐賀県佐賀市本庄町1番地
国立大学法人佐賀大学長

兒玉 浩明

18歳人口(男女別)の将来推計

- 我が国の18歳人口の推移を見ると、2005年には約137万人であったものが、現在は約110万人まで減少している。
- 今後、2035年には初めて100万人を割って約96万人となり、さらに2040年には約74万人にまで減少するという推計もある。

添付資料 6



(出典) 2022年以前は文部科学省「学校基本統計」、
2023年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）（出生低位・死亡低位）」を元に作成
学生確保(資料)－23

2040年における18歳人口（推計）の減少割合（2021年実績値基準）

順位	都道府県名	地域	18歳人口（2021年）	18歳人口（2040年）	減少割合
1	東京	関東	104,150	92,106	88%
2	沖縄	九州・沖縄	16,363	13,082	80%
3	福岡	九州・沖縄	46,524	34,719	75%
4	熊本	九州・沖縄	16,741	11,584	69%
4	愛知	中部	71,537	49,082	69%
6	佐賀	九州・沖縄	8,412	5,622	67%
6	鹿児島	九州・沖縄	15,625	10,500	67%
6	神奈川	関東	78,433	52,183	67%
9	滋賀	近畿	14,328	9,494	66%
9	宮崎	九州・沖縄	10,517	6,901	66%
11	岡山	中国・四国	18,190	11,892	65%
11	大阪	近畿	79,549	51,865	65%
11	千葉	関東	54,908	35,741	65%
11	埼玉	関東	64,508	41,712	65%
15	島根	中国・四国	6,233	3,996	64%
15	広島	中国・四国	26,108	16,686	64%
17	大分	九州・沖縄	10,244	6,503	63%
17	京都	近畿	23,145	14,655	63%
17	兵庫	近畿	51,482	32,315	63%
17	鳥取	中国・四国	5,195	3,259	63%
21	石川	中部	10,574	6,596	62%
21	長崎	九州・沖縄	12,691	7,814	62%
23	福井	中部	7,584	4,651	61%
23	香川	中国・四国	9,310	5,640	61%
25	三重	近畿	17,458	10,378	59%
25	宮城	東北	20,998	12,328	59%
27	富山	中部	9,656	5,640	58%
27	山梨	中部	7,768	4,521	58%
27	徳島	中国・四国	6,581	3,829	58%
27	山口	中国・四国	12,219	7,053	58%
31	愛媛	中国・四国	12,483	7,171	57%
31	高知	中国・四国	6,184	3,528	57%
31	北海道	北海道	45,007	25,440	57%
34	静岡	中部	34,622	19,553	56%
34	栃木	関東	18,417	10,379	56%

2040年における18歳人口（推計）の減少割合（2021年実績値基準）

順位	都道府県名	地域	18歳人口（2021年）	18歳人口（2040年）	減少割合
34	長野	中部	20,242	11,393	56%
34	和歌山	近畿	8,809	4,953	56%
34	奈良	近畿	12,973	7,294	56%
34	新潟	中部	19,807	11,136	56%
40	茨城	関東	27,454	15,183	55%
40	岐阜	中部	20,034	10,969	55%
40	群馬	関東	18,806	10,284	55%
43	山形	東北	10,269	5,334	52%
44	福島	東北	17,622	8,873	50%
45	岩手	東北	11,379	5,609	49%
46	青森	東北	11,830	5,732	48%
47	秋田	東北	8,171	3,865	47%

○出展：文部科学省 中央教育審議会 第180回大学分科会・第14回高等教育のあり方に関する特別部会 参考資料

九州地区の理工系・農学系学部の入学志願状況

大学名	学部名	令和2年度（2020） 入学			令和3年度（2021） 入学			令和4年度（2022） 入学			令和5年度（2023） 入学			令和6年度（2024） 入学			5年 平均
		入学 定員	志願者 数	志願 倍率	入学 定員	志願者 数	志願 倍率	入学 定員	志願者 数	志願 倍率	入学 定員	志願者 数	志願 倍率	入学 定員	志願者 数	志願 倍率	志願 倍率
宮崎大学	農学部	285	889	3.12	285	1,484	5.21	285	1,351	4.74	285	1,752	6.15	265	1,426	5.38	4.92
宮崎大学	工学部	—	—	—	370	1,773	4.79	370	1,836	4.96	370	1,886	5.10	370	1,736	4.69	4.89
佐賀大学	理工学部	480	2,480	5.17	480	2,292	4.78	480	2,515	5.24	480	2,119	4.41	510	2,045	4.01	4.72
佐賀大学	農学部	145	544	3.75	145	580	4.00	145	596	4.11	145	656	4.52	145	603	4.16	4.11
琉球大学	理学部	200	839	4.20	200	712	3.56	200	785	3.93	200	643	3.22	200	766	3.83	3.75
熊本大学	理学部	200	671	3.36	200	718	3.59	200	560	2.80	200	714	3.57	190	836	4.40	3.54
九州大学	芸術工学部	187	627	3.35	187	661	3.53	187	663	3.55	187	657	3.51	187	696	3.72	3.53
琉球大学	農学部	140	652	4.66	140	476	3.40	140	427	3.05	140	471	3.36	140	439	3.14	3.52
大分大学	理工学部	385	1,525	3.96	385	1,135	2.95	385	1,760	4.57	355	1,200	3.38	395	1,028	2.60	3.49
琉球大学	工学部	350	1,414	4.04	350	1,155	3.30	350	1,334	3.81	350	1,141	3.26	350	950	2.71	3.43
九州大学	理学部	258	885	3.43	258	916	3.55	258	777	3.01	258	875	3.39	258	853	3.31	3.34
九州工業大学	工学部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	531	1,764	3.32	3.32
九州工業大学	情報工学部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	941	3,091	3.28	3.28
九州大学	工学部	778	2,292	2.95	778	2,428	3.12	778	2,514	3.23	778	2,449	3.15	778	2,449	3.15	3.12
鹿児島大学	理学部	185	453	2.45	185	693	3.75	185	453	2.45	185	631	3.41	185	573	3.10	3.03
長崎大学	情報データ科学部	110	377	3.43	110	254	2.31	110	381	3.46	120	261	2.18	120	380	3.17	2.91
鹿児島大学	工学部	440	1,210	2.75	440	1,467	3.33	440	1,228	2.79	440	1,276	2.90	440	1,195	2.72	2.90
長崎大学	工学部	330	853	2.58	330	793	2.40	330	1,024	3.10	330	1,036	3.14	330	946	2.87	2.82
長崎大学	環境科学部	130	376	2.89	130	275	2.12	130	398	3.06	130	353	2.72	130	395	3.04	2.76
鹿児島大学	農学部	205	594	2.90	205	460	2.24	205	628	3.06	205	554	2.70	175	484	2.77	2.73
熊本大学	工学部	513	1,270	2.48	513	1,120	2.18	513	1,155	2.25	513	1,071	2.09	473	1,128	2.38	2.28

※それぞれのデータは、各大学が公表する資料から取得

※水産学部（鹿児島・長崎）及び共同獣医学部（宮崎）については、関連学部である佐賀大学理工学部及び農学部に含まれない分野であるため比較対象外とした

佐賀大学における地域別入学者の割合

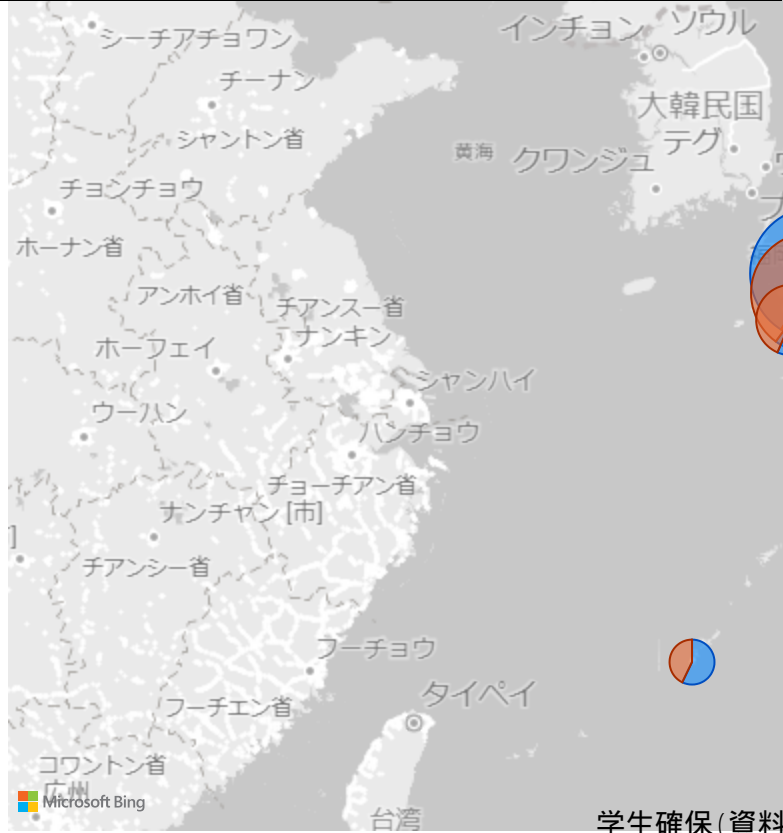
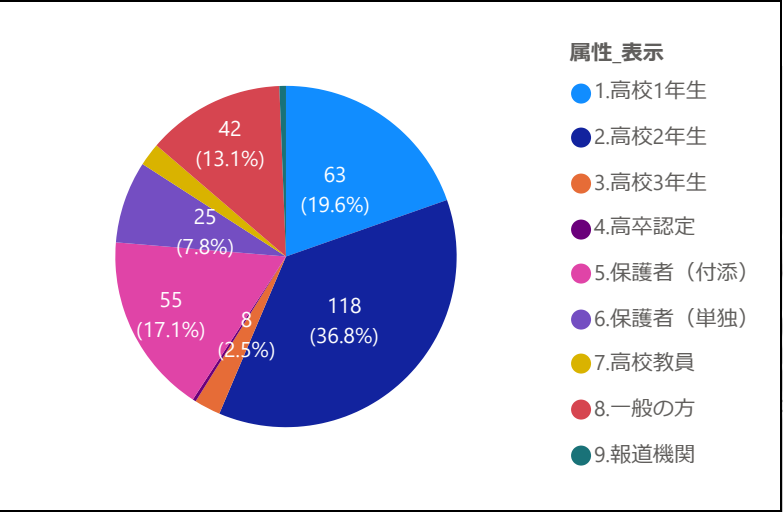
地域	2020	2021	2022	2023	2024	過去5年 平均
佐賀	25.90%	27.80%	27.20%	24.10%	27.20%	26.40%
福岡	42.80%	42.70%	43.20%	46.50%	45.50%	44.10%
長崎	9.10%	9.10%	7.30%	7.40%	6.80%	7.90%
熊本	5.80%	5.70%	5.10%	5.00%	5.00%	5.30%
大分	2.30%	1.80%	2.50%	2.30%	2.30%	2.20%
宮崎	2.30%	3.40%	2.70%	2.90%	2.60%	2.80%
鹿児島	2.20%	2.20%	2.50%	1.80%	3.40%	2.40%
沖縄	1.10%	0.50%	0.50%	0.80%	0.30%	0.70%
北海道地区	0.10%	0.10%	0.30%	0.10%	0.10%	0.10%
東北地区	0.00%	0.00%	0.20%	0.00%	0.10%	0.00%
関東地区	1.20%	1.00%	1.30%	1.70%	0.60%	1.10%
中部地区	0.80%	0.60%	1.50%	1.20%	1.00%	1.00%
近畿地区	2.10%	1.60%	2.10%	1.70%	1.20%	1.70%
中国・四国地区	4.00%	3.00%	3.10%	4.20%	3.20%	3.50%
その他	0.40%	0.50%	0.60%	0.40%	0.70%	0.50%

佐賀大学における地域別入学者数

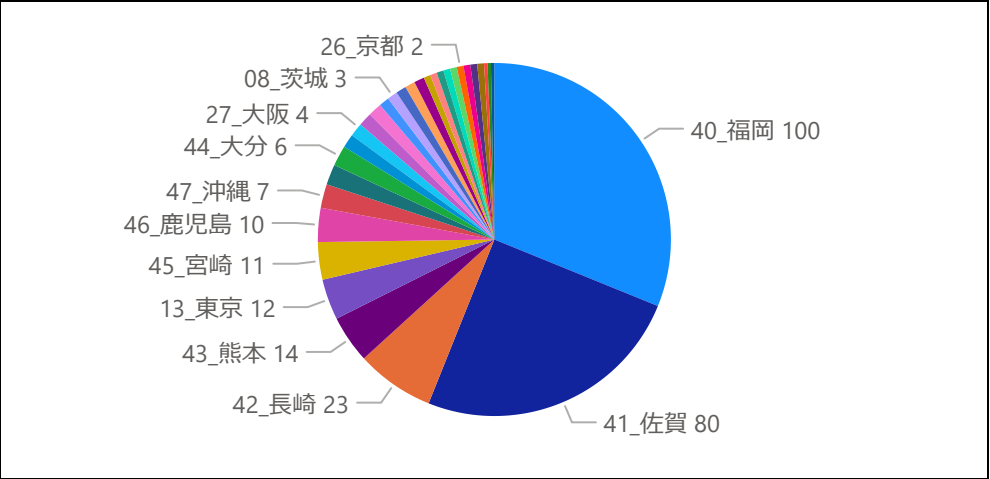
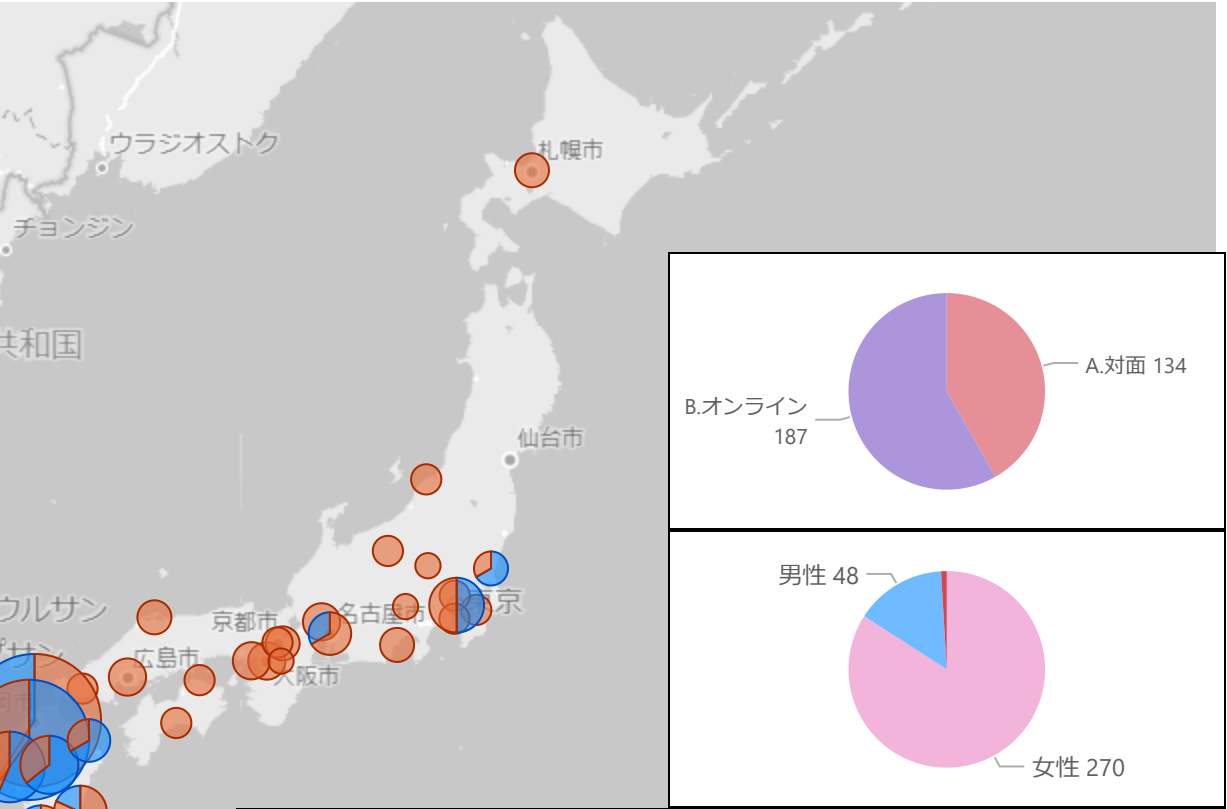
地域	2020	2021	2022	2023	2024	過去5年 平均
佐賀	343	365	354	321	370	350.6
福岡	567	562	563	619	618	585.8
長崎	121	120	95	99	92	105.4
熊本	77	75	66	67	68	70.6
大分	31	24	33	30	31	29.8
宮崎	30	45	35	38	36	36.8
鹿児島	29	29	33	24	46	32.2
沖縄	15	7	7	11	4	8.8
北海道地区	1	1	4	1	2	1.8
東北地区	0	0	2	0	1	0.6
関東地区	16	13	17	22	8	15.2
中部地区	10	8	19	16	14	13.4
近畿地区	28	21	27	23	16	23
中国・四国地区	53	39	40	56	44	46.4
その他	5	6	8	5	9	6.6
計	1326	1315	1303	1332	1359	

都道府県コード	A.対面	B.オンライン	合計
▲01_北海道		3	3
08_茨城	2	1	3
10_群馬		1	1
11_埼玉		2	2
12_千葉		2	2
13_東京	6	6	12
14_神奈川		2	2
15_新潟		2	2
19_山梨		1	1
20_長野		2	2
21_岐阜		4	4
22_静岡		3	3
23_愛知	2	4	6
25_滋賀		3	3
26_京都		2	2
27_大阪		4	4
28_兵庫		4	4
29_奈良		1	1
32_島根		3	3
34_広島		4	4
35_山口		2	2
37_香川		2	2
39_高知		2	2
40_福岡	41	59	100
41_佐賀	48	32	80
42_長崎	13	10	23
43_熊本	9	5	14
44_大分	4	2	6
45_宮崎	2	9	11
46_鹿児島	3	7	10
47_沖縄	4	3	7
合計	134	187	321

※当日の参加申込を含む。

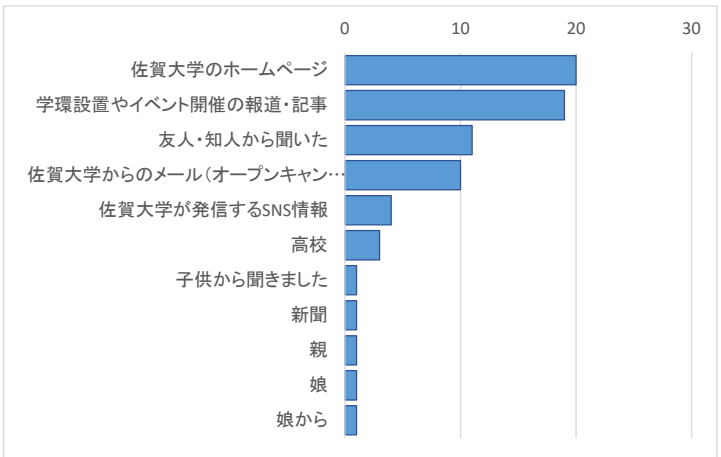


種別 ● A.対面 ● B.オンライン

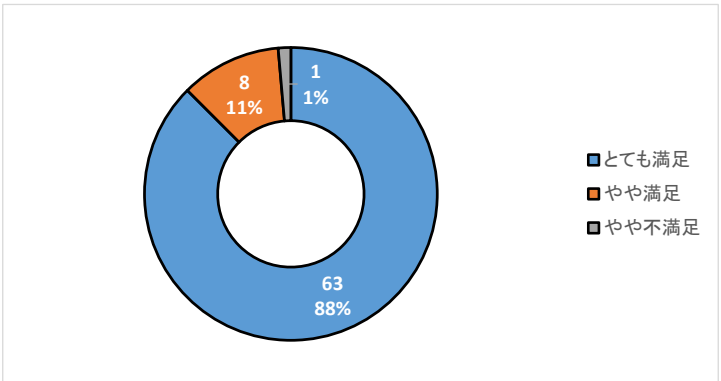


「未来発見オープンデイ」参加者アンケート結果

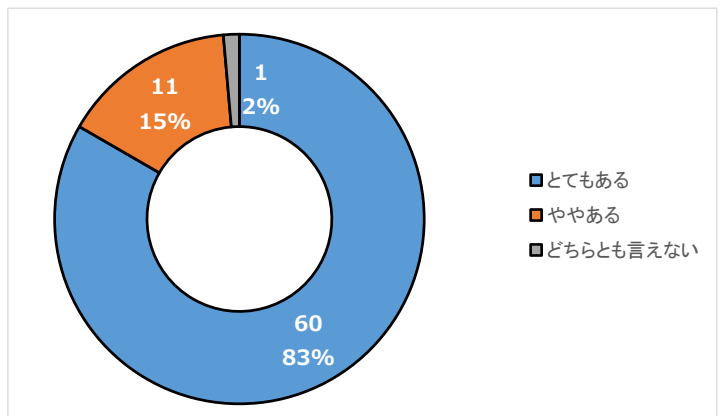
個数 / ID	
イベント「未来発見オープンデイ」が開催されることはどこで知りましたか。	集計
佐賀大学のホームページ	20
学環設置やイベント開催の報道・記事	19
友人・知人から聞いた	11
佐賀大学からのメール（オープンキャンパス参加者宛て）	10
佐賀大学が発信するSNS情報	4
高校	3
子供から聞きました	1
新聞	1
親	1
娘	1
娘から	1
総計	72



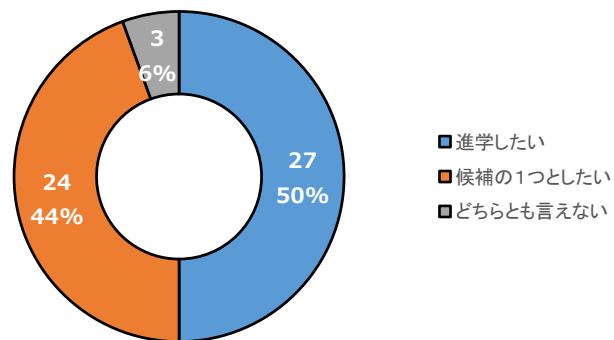
個数 / ID	
イベント「未来発見オープンデイ」の内容はどうでしたか。	集計
とても満足	63
やや満足	8
やや不満足	1
総計	72



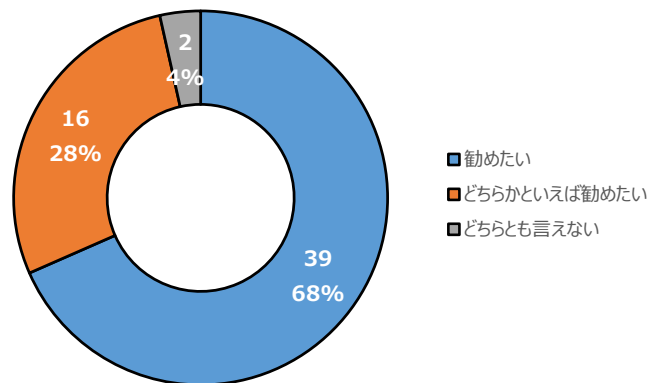
個数 / ID	
コスメティックサイエンス学環（仮称）に対する興味・関心はどの程度ですか。	集計
とてもある	60
ややある	11
どちらとも言えない	1
総計	72



（将来、大学進学を考えている方のみお答えください）コスメティックサイエンス学環（仮称）へ進学したいと思いましたが。		個数 / ID
進学したい		27
候補の1つとしたい		24
どちらとも言えない		3
総計		54



スメティックサイエンス学環（仮称）への進学を勧めたいと思いましたが。		個数 / ID
勧めたい		39
どちらかといえば勧めたい		16
どちらとも言えない		2
総計		57



佐賀大学理工学部及び農学部における入試状況

佐賀大学理工学部

事項	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	5年平均
入学定員	480	480	480	480	510	—
志願者数	2480	2292	2515	2119	2045	2290.2
受験者数	1669	1469	1603	1332	1310	1476.6
合格者数	551	549	561	567	566	558.8
入学者数	503	495	495	510	519	504.4
入学定員充足率	104.8%	103.1%	103.1%	106.3%	101.8%	103.8%
入学志願倍率	5.17	4.78	5.24	4.41	4.01	4.72

佐賀大学農学部

事項	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	5年平均
入学定員	145	145	145	145	145	—
志願者数	544	580	596	656	603	595.8
受験者数	367	455	394	433	428	415.4
合格者数	164	165	168	162	167	165.2
入学者数	147	154	146	146	150	148.6
入学定員充足率	101.4%	106.2%	100.7%	100.7%	103.4%	102.5%
入学志願倍率	3.75	4.00	4.11	4.52	4.16	4.11

志願者増に向けた取組（2024年度広報活動）

添付資料12

活動内容	詳細	回数等	対象	参加者
とびらプロジェクト 「科学へのとびら」	佐賀県教育委員会と協力して「継続・育成型」の高大連携カリキュラムを開発・実施 ～科学への興味・関心を高めるためのカリキュラム～	年 5 回 他参考：教師へのとびら、 医療人へのとびら、科学へのとびら、アートへのとびら	高校生	1 年生 77 人 2 年生 81 人 3 年生 67 人 計 225 人
高校教員向け入試説明会	高校進路担当教諭向け説明会 大学・学部の特長、前年度の入試結果、入試変更等の説明	北九州市、長崎市、熊本市、大分市、宮崎市、鹿児島市、佐賀市	高校教諭、予備校講師	158人
出張進学説明会	アドミッションセンター教員が高校に出向き、生徒向け説明会を開催	年 6 2 校	高校生	1,634人
アドミッションセンター教員の高校等訪問	募集要項等の配布をはじめ、大学・学部の特長について、個別に高校を訪問し説明	年 2 3 9 校	高校教諭、予備校講師	－
佐賀大学と佐賀県高等学校長との連絡会	学長、理事、学部長と県内高等学校長との情報交換、意見交換会	年 1 回	高校長	27人
ジョイントセミナー（出前授業）	専門分野の講義や実験をととして、高校生が大学の学問や研究に触れる機会を提供し、進学意欲を高める	年 1 1 0 回	高校生	4,327人
九州地区国立大学合同説明会	九州地区10大学の教員が大学の特徴や魅力を説明し、個別相談会を実施	年 2 回 福岡市、鹿児島市	高校生	大学別説明会 1,078人 個別説明会 232人
オープンキャンパス	大学の施設見学、模擬授業、個別相談など	年 1 回	高校生 保護者	4,757人
進学説明会	受験産業が実施する進学説明会	年 4 2 回	高校生	953人

○参加者数

実施年度	参加者内訳								
	1年生	2年生	3年生	高校生計	既卒生	保護者	その他	その他計	計
令和4年度	-	-	-	54	-	-	-	50	104
令和5年度	7	24	22	53	1	37	4	42	95
令和6年度	15	15	17	47	0	45	3	48	95

○講座内容

R4年度

「佐賀県と佐賀県コスメティック構想」
「化粧品とサイエンス」

R5年度

「佐賀県コスメティック構想と佐賀県、佐賀大学の関わり」
「模擬授業～しわができるメカニズムと、それを改善する化粧品～」

R6年度

「佐賀県コスメティック構想と佐賀県、佐賀大学の関わり」
「模擬授業～肌を白くまたは黒くするメカニズムと美白化粧品の効果～」

予約不要・複数受講OK

佐賀大学「化粧品科学」共同研究講座 / オープンキャンパス特別講座

8.8(木)
13:00-14:40
教養教育1号館2階121番教室

講師 徳留 嘉寛, Yoshihiro Tokudome, Ph.D.
佐賀大学「化粧品科学」共同研究講座
教育研究院 自然科学域 理工学系
海洋エネルギー研究所 教授・博士（薬学）
兼 佐賀県産業振興機構プロジェクトリーダー

専門分野は化粧品科学、皮膚科学、薬理学、生物化学。化粧品の有効成分を肌の奥まで浸透させる技術の開発等を行う。コスメティック業界を牽引する研究者のひとり。会場では徳留先生が開発に携わった数々の化粧品も展示予定。

内容 保護者の方もご参加いただけます♪

13:00～13:40
『佐賀県コスメティック構想と佐賀県・佐賀大学の関わり』
佐賀県では、「佐賀県コスメティック構想」と称し、地方自治体と化粧品産業が共に取り組む、国内外でも貴重な取り組みを行っています。「佐賀県コスメティック構想」と佐賀県・佐賀大学の関わりをわかりやすく解説します。

14:00～14:40
『模擬授業～肌を白くまたは黒くするメカニズムと美白化粧品の効果～』
皆さんは、肌を黒くするまたは白くするメカニズムを知っていますか？日本のコスメ業界で有名な本学の教員がメラニンができるメカニズムと美白化粧品に関して、実際の大学の講義形式で模擬授業を行います！

※質問は随時受け付けます※

（参考）R6年度イベントチラシ

熊本大学理学部理学科（グローバルリーダーコースを除く）

	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	5年平均
入学定員	190	190	190	190	180	-
志願者数	646	707	548	700	822	684.6
受験者数	434	478	349	427	508	439.2
合格者数	228	223	227	241	221	228.0
入学者数	196	192	193	198	196	195.0
入学定員充足率	103.2%	101.1%	101.6%	104.2%	108.9%	103.8%
入学志願倍率	3.40	3.72	2.88	3.68	4.57	3.65

鹿児島大学農学部農学科

	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	5年平均
入学定員	205	205	205	205	175	-
志願者数	594	460	628	554	484	544.0
受験者数	465	319	495	410	342	406.2
合格者数	251	233	240	234	197	231.0
入学者数	223	212	220	218	181	210.8
入学定員充足率	108.8%	103.4%	107.3%	106.3%	103.4%	105.9%
入学志願倍率	2.90	2.24	3.06	2.70	2.77	2.73

広島大学生物生産学部生物生産学科

	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	5年平均
入学定員	90	90	90	90	90	-
志願者数	322	180	211	367	251	266.2
受験者数	226	135	150	239	164	182.8
合格者数	102	97	100	98	98	99.0
入学者数	95	94	95	94	97	95.0
入学定員充足率	105.6%	104.4%	105.6%	104.4%	107.8%	105.6%
入学志願倍率	3.58	2.00	2.34	4.08	2.79	2.96

佐賀大学理工学部

	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	5年平均
入学定員	480	480	480	480	510	-
志願者数	2480	2292	2515	2119	2045	2290.2
受験者数	1669	1469	1603	1332	1310	1476.6
合格者数	551	549	561	567	566	558.8
入学者数	503	495	495	510	519	504.4
入学定員充足率	104.8%	103.1%	103.1%	106.3%	101.8%	103.8%
入学志願倍率	5.17	4.78	5.24	4.41	4.01	4.72

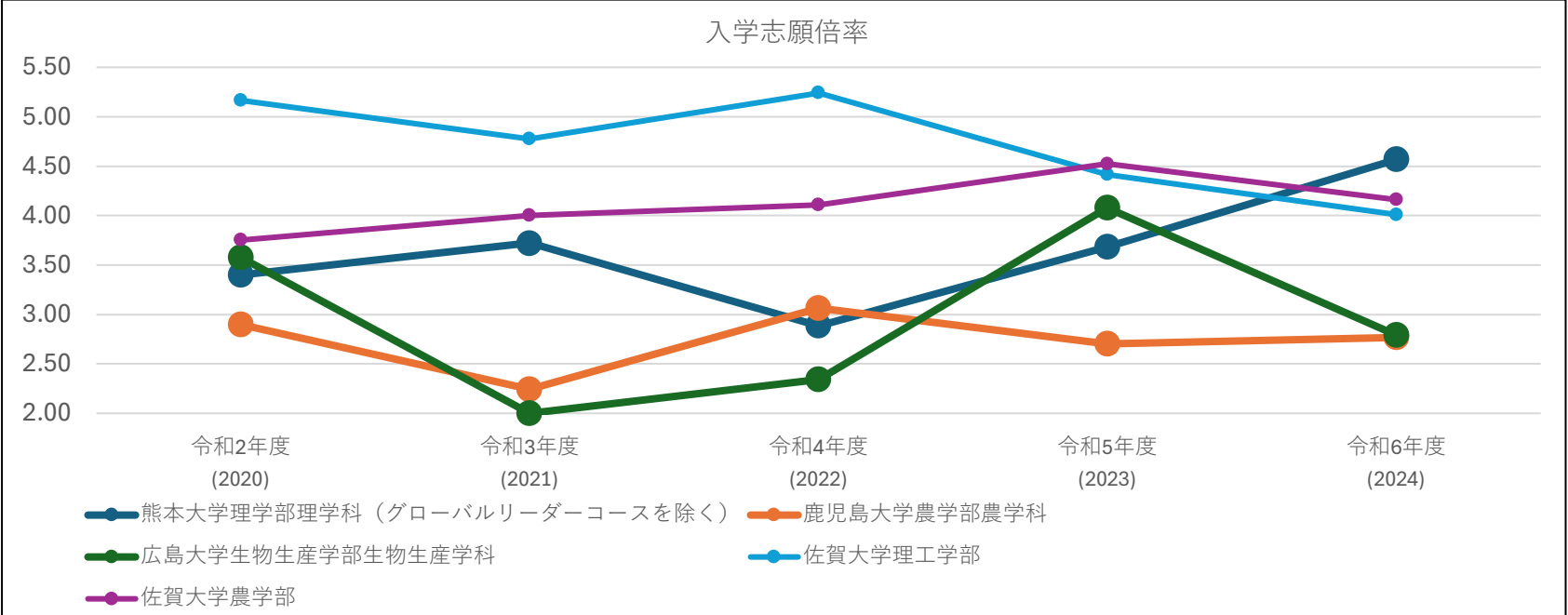
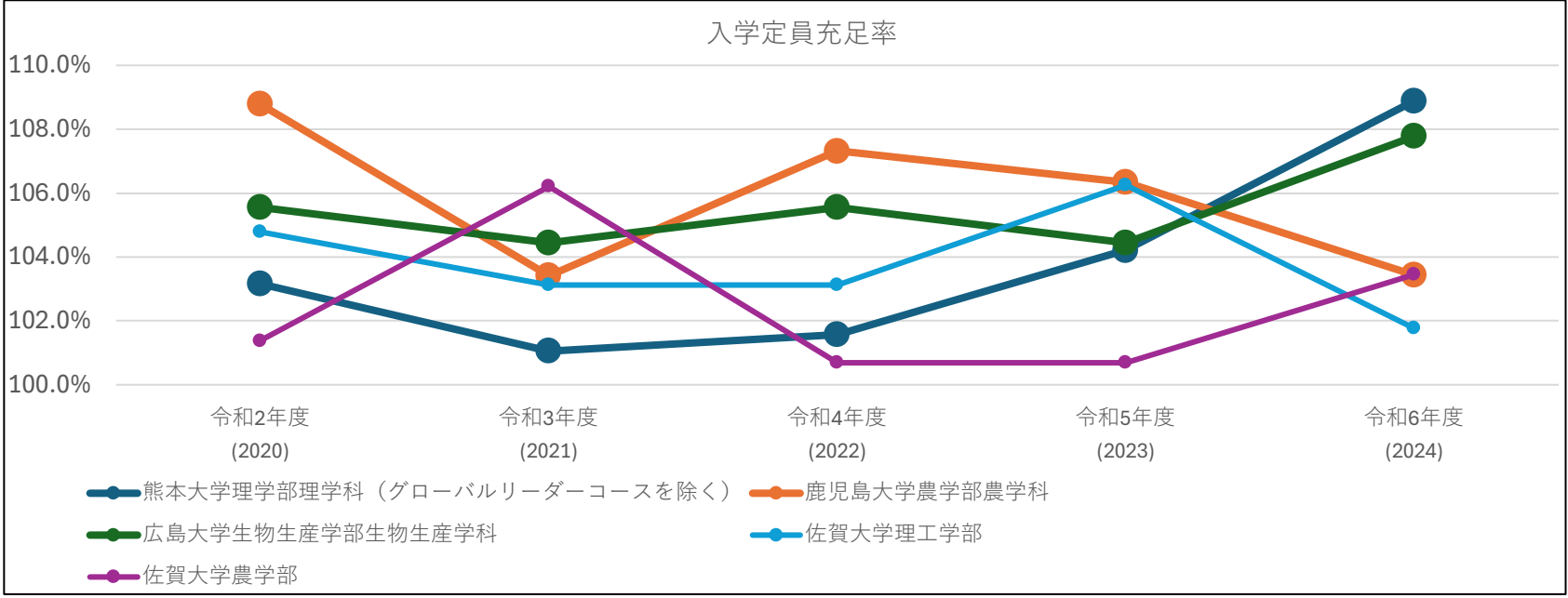
佐賀大学農学部

	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	5年平均
入学定員	145	145	145	145	145	-
志願者数	544	580	596	656	603	595.8
受験者数	367	455	394	433	428	415.4
合格者数	164	165	168	162	167	165.2
入学者数	147	154	146	146	150	148.6
入学定員充足率	101.4%	106.2%	100.7%	100.7%	103.4%	102.5%
入学志願倍率	3.75	4.00	4.11	4.52	4.16	4.11

入学定員充足率＝入学者数／入学定員

入学志願倍率＝志願者数／入学定員

出典：各大学HP　入試統計



佐賀大学
「コスメティックサイエンス学環」(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【高校生対象調査】

1. 調査目的

2026年4月開設予定の佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」(仮称)設置構想に関して、高校生からの進学ニーズを把握する。

2. 調査概要

高校生対象調査		
調査対象		高校2年生
調査エリア		福岡県、佐賀県
調査方法		高校留め置き調査
調査 対象数	依頼数	3,685名(34校)
	有効回収数	3,615名(32校) 有効回収率:98.1%
調査時期		2024年11月11日(月)～2024年12月25日(水)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

高校生対象調査
・性別 ・学年 ・高校種別 ・高校所在地 ・所属クラス ・高校卒業後の希望進路 ・志望する設置者 ・興味のある学問分野 ・佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」の特色に対する魅力度 ・佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」への受験意向 ・佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」への入学意向

入学意向調査 調査結果

※報告書内の表中の%の母数は、
特に断りがない場合、回答者全体(3,615名)

回答者の属性

※本調査は、佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」に対する需要を確認するための調査として設計。佐賀大学の主な学生募集エリアである福岡県、佐賀県に所在する高校の高校2年生に調査を実施し、3,615名から回答を得た。

- 回答者の性別は「男性」が53.7%、「女性」が44.3%である。
- 回答者の学年は「2年生」が100.0%である。
- 回答者の高校種別は、「公立」が78.7%、「私立」が21.3%である。
- 回答者の在籍高校所在地は、「福岡県」が68.8%で最も多い。佐賀大学の本部所在地である「佐賀県」は31.2%である。
- 回答者の所属クラスは「理系クラス(理系コース)」が93.3%で最も多い。次に「文系クラス(文系コース)」が4.1%と続く。

■性別

	標 本 数	男 性	女 性	回 答 し な い	無 回 答
上段: % 下段: 件数(名)					
全体	3,615	53.7 1,940	44.3 1,603	1.5 53	0.5 19

■学年

	標 本 数	1 年 生	2 年 生	3 年 生	無 回 答
上段: % 下段: 件数(名)					
全体	3,615	0.0 0	100.0 3,615	0.0 0	0.0 0

■高校種別

	標 本 数	国 立	公 立	私 立	無 回 答
上段: % 下段: 件数(名)					
全体	3,615	0.0 0	78.7 2,844	21.3 771	0.0 0

■高校所在地

	標 本 数	福 岡 県	佐 賀 県	無 回 答
上段: % 下段: 件数(名)				
全体	3,615	68.8 2,488	31.2 1,127	0.0 0

■所属クラス

	標 本 数	文 系 ク ラ ス (文 系 コ ー ス)	理 系 ク ラ ス (理 系 コ ー ス)	コ ー ス 選 択 は な い	そ の 他	無 回 答
上段: % 下段: 件数(名)						
全体	3,615	4.1 148	93.3 3,372	0.1 3	0.1 2	2.5 90

高校卒業後の希望進路

- ・ 回答者のうち、今後「大学」に進学することを検討・希望している人は97.6%。次いで「専門学校」に進学が5.0%と続く。「短期大学」に進学は0.9%、「専門職大学」に進学は1.8%、「専門職短期大学」に進学は0.1%である。
- ・ 高校卒業後の希望進路として「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」のいずれかを選択した人に、設置者ごとの進学希望を複数回答で聴取した。その結果、佐賀大学の該当する「国立」への進学を希望する人は83.4%、「公立」が32.4%、「私立」が29.5%であった。

■高校卒業後の進路

Q1. あなたは、卒業後の進路をどのように考えていますか。
現在検討している進路すべてに○をつけてください。(複数選択可)

	標 本 数	大 学	短 期 大 学	専 門 職 大 学	専 門 職 短 期 大 学	専 門 学 校	就 職	そ の 他	無 回 答
上段：% 下段：件数(名)									
全体	3,615	97.6 3,528	0.9 32	1.8 64	0.1 5	5.0 181	0.9 31	0.5 19	0.4 13

※「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」
のいずれかを選択した3,542名を抽出

■高校卒業後の進路(設置者別)

Q2. Q1で①～④を選択した方に質問です。(※Q1で①～④を選択しなかった方は、Q3に進んでください。)
志望する大学等の設置者の希望を選択してください。
現在検討している(希望している)設置者すべてに○をつけてください。(複数選択可)

	標 本 数	国 立	公 立	私 立	無 回 答
上段：% 下段：件数(名)					
全体	3,542	83.4 2,953	32.4 1,146	29.5 1,046	0.3 10

※%の母数は、Q1で「大学」「短期大学」「専門職大学」「専門職短期大学」の
いずれかを選択した3,542名

興味のある学問分野

- 回答者の興味のある学問分野を複数回答で聴取したところ、「コスメティックサイエンス学環」の学びと関連する学問分野は以下の通り。

化学:18.1%

生物:15.2%

農学:11.4%

農芸化学:2.0%

- 回答者のうち、国立大学進学希望者に限定すると、「コスメティックサイエンス学環」の学びと関連する興味のある学問分野は以下の通り。

化学:20.3%

生物:15.8%

農学:12.8%

農芸化学:2.4%

<国立大学進学希望者>

- ① Q1で卒業後の進路として「大学」を希望。
- ② Q2で「国立」への進学を希望。

■興味のある学問分野

Q3. ここからは**全員**にお聞きます。
高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。
以下の項目から、興味のある学問分野すべてに○をつけてください。(複数選択可)
※現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。

	標 本 数	化 学	生 物	その他理 学 (数学・物理学など)	農 学	農 芸 化 学	その他農 学 (林学・ 水産学など)	人文科学 (文学・史学・ 哲学など)	社会科学 (法学・ 社会学など)
上段: % 下段: 件数(名)									
全体	3,615	18.1 654	15.2 549	12.5 451	11.4 411	2.0 74	3.2 115	4.1 147	5.1 183

	標 本 数	電 工 学 (機械工学・ 電気通信工学など)	保 健 (医学・薬学・ 看護学など)	家 政 (家政学・食物学・ 被服学など)	教 育 (小学校課程・ 中学校課程など)	その他	わ か ら な い	無 回 答
上段: % 下段: 件数(名)								
全体	3,615	36.0 1,300	30.9 1,118	3.5 125	10.5 380	11.0 398	3.8 137	0.5 17

< 国立大学進学希望者ベース >

	標 本 数	化 学	生 物	その他理 学 (数学・物理学など)	農 学	農 芸 化 学	その他農 学 (林学・ 水産学など)	人文科学 (文学・史学・ 哲学など)	社会科学 (法学・ 社会学など)
上段: % 下段: 件数(名)									
国立大学 進学希望者	2,951	20.3 598	15.8 467	14.2 420	12.8 378	2.4 70	3.7 109	4.0 118	5.1 151

	標 本 数	電 工 学 (機械工学・ 電気通信工学など)	保 健 (医学・薬学・ 看護学など)	家 政 (家政学・食物学・ 被服学など)	教 育 (小学校課程・ 中学校課程など)	その他	わ か ら な い	無 回 答
上段: % 下段: 件数(名)								
国立大学 進学希望者	2,951	39.0 1,150	29.0 856	2.8 83	10.8 319	10.1 298	3.2 95	0.2 7

※%の母数は、国立大学進学希望者(2,951名)

佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」 への受験・入学意向

※ここからは、下記の①～③の条件すべてに合致する回答者を、
佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」のターゲット層と定義し、分析を行う。

- ① Q1で卒業後の進路として「大学」を希望。
- ② Q2で「国立」への進学を希望。
- ③ Q3で、「コスメティックサイエンス学環」の学びと関連する
学問分野への興味あり。
(化学、生物、農学、農芸化学のいずれかに興味あり)

佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」 クロス集計結果

佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」クロス集計結果

■佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」クロス集計結果

Q5. あなたは、佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」(仮称、設置構想中)が開設された場合、受験を希望しますか。
あなたの考えに近い選択肢を、次より1つ選択してください。

Q6. Q5で①～③(受験する)を選択した方に質問です。
佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」(仮称、設置構想中)を受験して合格した場合、入学を希望しますか。
あなたの考えに近い選択肢を、次より1つ選択してください。

回答者数 (合計)	Q1 卒業後の進路	Q2 進学希望の 大学設置者	Q3 興味のある 学問分野	Q5 新設組織の 受験希望有無	Q6 合格した場合の 入学希望有無
3,615名	うち、	うち、	うち、	うち、	うち、
	①大学 に進学 3,528名 (97.6%)	①国立 2,951名 (81.6%)	①化学 ②生物 ④農学 ⑤農芸化学 を選択 1,021名 (28.2%) ※新設組織に 該当する 学問分野 いずれかを 選択した者 のみ記載	①第一志望として 受験する 46名 (1.3%)	①入学する 40名 (1.1%)
					②志望順位が 上位の他の志望校 が不合格の場合に 入学する 4名 (0.1%)
					③入学しない 2名 (0.1%)
				②第二志望として 受験する 60名 (1.7%)	①入学する 25名 (0.7%)
					②志望順位が 上位の他の志望校 が不合格の場合に 入学する 34名 (0.9%)
					③入学しない 0名 (0.0%)
				③第三志望以降 として受験する 127名 (3.5%)	①入学する 5名 (0.1%)
					②志望順位が 上位の他の志望校 が不合格の場合に 入学する 109名 (3.0%)
					③入学しない 12名 (0.3%)
				④受験しない	

入学見込者※
40名

※%の母数は、回答者全体(3,615名)
※「入学見込者」=ターゲット層のうち、Q5で「コスメティックサイエンス学環」を「第一志望として受験する」かつ
Q6で「入学する」と回答した人

佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」 の特色に対する魅力度

佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」の特色に対する魅力度

【コスメティックサイエンス学環 ターゲット層】

下記の①～③の条件すべてに合致する回答者: 1,021名(回答者全体の28.2%)

- ① Q1で卒業後の進路として「大学」を希望。
- ② Q2で「国立」への進学を希望。
- ③ Q3で、「コスメティックサイエンス学環」の学びと関連する
学問分野への興味あり。
(化学、生物、農学、農芸化学のいずれかに興味あり)



- ・ターゲット層における「コスメティックサイエンス学環」の特色に対する魅力度(※)を見ると、最も高いのは「B. 科学的根拠に基づき、化学物質の品質・安全性を正確に評価できるスペシャリストを養成する」(80.1%)である。次いで「A. 化学・生物学を中心とした分野横断的な学びをベースとして、多角的に化粧品の研究や開発にアプローチする」(73.7%)、「C. 「コスメティック構想」での実績を活かした、行政や企業と連携した実践的な学びが得られる教育環境がある」(72.0%)と続く。
- ・ターゲット層該当者のうち、「第一志望として受験する」かつ「入学する」と回答した人(第一志望者)における「コスメティックサイエンス学環」の特色に対する魅力度(※)を見ると、「特色A」「特色B」「特色C」がいずれも100.0%である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」 の特色に対する魅力度

■ 佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」の特色に対する魅力度

Q4. 佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。
それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

- 特色A. 化学・生物学を中心とした分野横断的な学びをベースとして、多角的に化粧品の研究や開発にアプローチする
- 特色B. 科学的根拠に基づき、化学物質の品質・安全性を正確に評価できるスペシャリストを養成する
- 特色C. 「コスメティック構想」での実績を活かした、行政や企業と連携した実践的な学びが得られる教育環境がある

上段：％ 下段：件数(名)	標本数	特色A	特色B	特色C
ターゲット層	1,021	73.7 752	80.1 818	72.0 735
第一志望者	40	100.0 40	100.0 40	100.0 40

※第一志望者：
ターゲット層(大学進学希望×国立×関連学問分野興味あり)該当者のうち、
佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」を「第一志望として受験する」かつ「入学する」
と回答した人

卷末資料 調查票

佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」(仮称、設置構想中)
に関するアンケート

佐賀大学では2026年(令和8年)4月より、「コスメティックサイエンス学環」(仮称)を新設することを構想しています。このアンケートは、高校生のみなさんの進路選択に対する考え方や、大学で学びたいことなどの意見を伺いし、佐賀大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただきます。

このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。また、回答いただいた内容が、高校生のみなさんの本学の入学に影響を及ぼすことは一切ありません。

つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートや同封した資料に記載されている「コスメティックサイエンス学環」(仮称、設置構想中)に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

記入要領

- 回答は、**あてはまる番号**に「○」印をつけてください。
- この用紙は、電算処理しますので汚さないようにしてください。
- 記入は、必ず**鉛筆又はシャープペンシル**で黒く書いてください。
- 下記の【良い記入例】にしたがって記入してください。

特に、「○」印は、**番号丸枠からはみ出さない**ようにつけてください。

ここに○印をつけてください



良い記入例

○ 化学
② 生物

悪い記入例

② 化学
9 生物

① 

② 生物

① 化学

② 生物

◆最初にあなた自身についてお聞きします。

性別 (1つに○)	① 男性	② 女性	③ 回答しない
学年 (1つに○)	① 1年生	② 2年生	③ 3年生
在籍している 高校名	高校所在地〔 〕 都・道・府・県 ① 国立 ② 公立 ③ 私立 (←1つに○) 〔 〕 高等学校		
所属クラス (1つに○)	① 文系クラス (文系コース)	③ コース選択はない	
	② 理系クラス (理系コース)	④ その他	

◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

Q1 あなたは、卒業後の進路をどのように考えていますか。
現在検討している進路すべてに○をつけてください。(複数選択可)

① 大学 ③ 専門職大学 ⑤ 専門学校
② 短期大学 ④ 専門職短期大学 ⑥ 就職
⑦ その他

Q2 Q1で①～④を選択した方に質問です。(※Q1で①～④を選択しなかった方は、Q3に進んでください。)
志望する大学等の設置者の希望を選択してください。
現在検討している(希望している)設置者すべてに○をつけてください。(複数選択可)

① 国立 ② 公立 ③ 私立

Q3 ここからは**全員**にお聞きます。
高校を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。
以下の項目から、興味のある学問分野すべてに○をつけてください。(複数選択可)
※現時点で進学を希望していない方も、進学の場合を想像してお答えください。

① 化学	⑥ その他農学(林学・水産学など)	⑪ 家政(家政学・食物学・被服学など)
② 生物	⑦ 人文科学(文学・史学・哲学など)	⑫ 教育(小学校課程・中学校課程など)
③ その他理学(数学・物理学など)	⑧ 社会科学(法学・政治学・社会学など)	⑬ その他
④ 農学	⑨ 工学(機械工学・電気通信工学など)	⑭ わからない
⑤ 農芸化学	⑩ 保健(医学・薬学・看護学など)	

◆佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」(仮称、設置構想中)についてお聞きます。

佐賀大学では、現在高校2年生のみなさんが大学生となる2026年(令和8年)4月に、新しく「コスメティックサイエンス学環」(仮称)を設置することを構想しています。

※ ここからは、アンケートに同封している資料を見てからお答えください ※

Q4 佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		とても 魅力を 感じる	ある程度 魅力を 感じる	あまり 魅力を 感じない	まったく 魅力を 感じない
例. ○○である。	→	①	②	③	④
A. 化学・生物学を中心とした分野横断的な学びをベースとして、多角的に化粧品の研究や開発にアプローチする	→	①	②	③	④
B. 科学的根拠に基づき、化学物質の品質・安全性を正確に評価できるスペシャリストを養成する	→	①	②	③	④
C. 「コスメティック構想」での実績を活かした、行政や企業と連携した実践的な学びが得られる教育環境がある	→	①	②	③	④

Q5 あなたは、佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」(仮称、設置構想中)が開設された場合、受験を希望しますか。あなたの考えに近い選択肢を、次より1つ選択してください。

- ① 第一志望として受験する
② 第二志望として受験する
③ 第三志望以降として受験する

④ 受験しない (→アンケートは終了です。)

Q6 Q5で①～③(受験する)を選択した方に質問です。佐賀大学「コスメティックサイエンス学環」(仮称、設置構想中)を受験して合格した場合、入学を希望しますか。あなたの考えに近い選択肢を、次より1つ選択してください。

- ① 入学する ② 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する ③ 入学しない

*** 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。***

「未来発見オープンデイ」申込者を対象とした「コスメティックサイエンス学環」（仮称）設置に関するニーズ調査

○調査概要

調査期間：令和6年11月25日（月）～12月9日（月）
対象者：「未来発見オープンデイ」に参加申込みをした高校生
協力依頼数：108人
有効回答数：53人（回答率49％）

○調査結果

属性に関する質問

①性別（1：男性、2：女性、3：回答しない）

選択肢	1	2	3	計
回答数	9	44	0	53

Q1卒業後の進路

（1：大学、2：短期大学、3：専門職大学、4：専門職短期大学、5：専門学校、6：就職、7：その他） ※複数回答

選択肢	1	2	3	4	5	6	7
回答数	53	0	0	0	2	2	0

Q2 大学等を志望する場合の大学等の設置形態について（Q1で1～4を選択した者が対象）

（1：国立、2：公立、3：私立）※複数回答

選択肢	1	2	3
回答数	50	29	17

Q3 興味のある学問分野について

選択肢	化学	生物	その他理学（数学・物理学など）	農学	農芸化学	その他農学（林学・水産学など）	人文科学（文学・史学・哲学など）	社会科学（法学・政治学・社会学など）	工学（機械工学・電気通信工学など）	保健（医学・薬学・看護学など）	家政（家政学・食物流学・被服学など）	教育（小学校課程・中学校課程など）
回答数	37	25	6	19	4	0	0	4	10	11	10	2

選択肢	その他	分からない
回答数	4	0

Q4 コスメティックサイエンス学環の特色A・B・Cについてどの程度魅力を感じるか

（選択肢 1：①とても魅力を感じる、2：②ある程度魅力を感じる、3：③あまり魅力を感じない、4：④まったく魅力を感じない）

特色A：化学・生物学を中心とした分野横断的な学びをベースとして、多角的に化粧品の研究や開発にアプローチする

選択肢	1	2	3	4
回答数	43	9	0	1

特色B：科学的根拠に基づき、化学物質の品質・安全性を正確に評価できるスペシャリストを養成する

選択肢	1	2	3	4
回答数	43	9	0	1

特色C：「コスメティック構想」での実績を活かした、行政や企業と連携した実践的な学びが得られる教育環境がある

選択肢	1	2	3	4
回答数	43	9	0	1

Q5 受験の希望について

(選択肢 1：①第1志望として受験する、2：②第2志望として受験する、3：③第3志望以降として受験する、4：④受験しない) ※4を選択した者はアンケート終了

選択肢	1	2	3	4
回答数	26	12	10	5

Q6 入学の希望について (Q5で1～3を選択した者が対象)

(選択肢 1：①入学する、2：②志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する、3：③入学しない)

選択肢	1	2	3
回答数	34	14	0

◎分析結果

以下の5つすべての条件に合致する者 (Web調査については、紙調査対象高校所属学生を除外し、重複しないように集計)

- ①Q1の卒業後の進路について、「大学」を選択した者
- ②Q2の大学等を志望する場合の大学等の設置形態について、「国立」を選択した者
- ③Q3の興味のある学問分野について、新設組織の学問分野である「化学」「生物」「農学」「農芸化学」のいずれかを選択した者
- ④Q5の受験希望について、「第一志望として受験する」を選択した者
- ⑤Q6の合格した場合の入学希望について、「入学する」を選択した者

区分	Web調査
①の回答者	53
①+②の回答者	50
①+②+③の回答者	45
①+②+③+④の回答者	16
①+②+③+④+⑤の回答者	16